

「スーパーフレックスモジュールチラー 氷蓄熱システム」の概要

1) 外 観



2) 製品仕様

スーパーフレックスモジュールチラー氷蓄熱システム

50/60Hz

形 名		RUA-BSB0902HLNV-A/D	備 考	
定格日量冷却能力	MJ	13,526 / 14,588	冷水取出温度7℃、10時間空調	
ピークカット仕様機 注)	MJ	11,632 / 12,676		
定格蓄熱容量	MJ	4,177 / 4,177	蓄熱槽の最大蓄熱量	
定格日量加熱能力	MJ	9,965 / 11,045	温水取出温度45℃、10時間空調	
システム運転質量	kg	33,505	標準配置の場合(熱源機 - 制御ユニット間が900mm)を示す	
熱源機	冷却能力(昼間追掛運転)	kW	269 / 298	外気温度35℃ DB
	熱源機COP		4.6 / 4.1	
	冷却能力(製氷)	kW	131 / 150	外気温度25℃ DB
	熱源機COP		3.6 / 3.3	
	加熱能力	kW	268 / 298	外気温度7℃ DB/6℃ WB
	熱源機COP		3.5 / 3.3	
蓄熱槽	外形寸法(高さx幅x奥行)	mm	2300 × 3060 × 3000	
	製品質量	kg	3,346	
制御ユニット	外形寸法(高さx幅x奥行)	mm	2150 × 2280 × 5770	
	製品質量	kg	9,090	
制御ユニット	外形寸法(高さx幅x奥行)	mm	1420 × 2280 × 1000	
	製品質量	kg	723	

注) ピークカット仕様機について

日中3時間のピーク時間帯は、冷却能力240kWまで蓄熱槽からの集中放熱により対応し、それ以上の負荷には、熱源機による追掛運転で対応する仕様です。

ピーク時間調整契約適用の詳細については、電力会社との協議によって決定します。

(契約の条件は電力会社によって相違します)

別途ソフト変更により、ピーク時間帯は、冷却能力350kWまで放熱により対応し、熱源機による追掛運転を行わない仕様にも対応できます。

3) システム概要と要素技術

熱源機

- **高効率運転**
 - 空気熱交換器散水装置搭載 (追掛運転時の消費電力を低減)
 - 圧縮機並列運転制御による優れた部分負荷特性 (蓄熱時に部分負荷運転を継続し消費電力を低減)
 - 熱源機を蓄熱槽の上流側に配置することによる追掛 COP 向上
- **インバータライン ポンプ内蔵 (3.7kW×3台)**
 - 運転周波数低減による搬送動力低減
 - 熱源機を蓄熱槽・制御ユニットから最大 70m離して設置可能 (ライン配管往復長さ: 相当長 200m、実長 140mまでを標準対応)

ライン

氷蓄熱システムを循環する不凍液 (本商品ではエチレングリコール溶液を使用)。製氷時は熱源機から - 5 のラインを氷蓄熱槽へ送る。

制御ユニット

- **タッチパネル式インターフェイス**
 - 運転パターンなどのスケジュール設定
 - 運転状態などの日常管理
- **熱源機に内蔵ポンプ搭載することにより制御ユニットを従来比べ 66%コンパクト化 (容積比)**
- **省施工**
 - 水配管キット (制御ユニットと蓄熱槽間の配管)
 - 密閉式膨張タンク内蔵

注) 熱源機と制御ユニット間の配管は現地手配、制御ユニットと氷蓄熱槽間の配管は付属出荷となります。

氷蓄熱槽

- **内融式**
安定した低温ライン温度取り出し
- **水槽水攪拌用エアポンプ搭載**
ピーク時間調整運転に性能を発揮
- **機械構造用炭素鋼鋼管製コイル**
常用最高圧力 980kPa
- **高精度な蓄熱量・放熱量制御**
水位計および熱量計算のダブル検知

